２　防災・安全

	タイトル	意見等
1	県道宮倉徳島線（徳島市八万町）における排水側溝のセメント閉塞および目詰まりによる道路冠水の危険性について	【該当の場所】 路線名：県道宮倉徳島線（136号線） 具体的な区間：徳島市八万町内浜の徳島信用金庫二軒屋支店から冷田橋方向へ約150メートルの区間 【現在の状況】 上記区間の県道東側に沿って設置してある道路排水用の側溝において、その約3分の2のグレーチング蓋がセメントで埋められてしまっています。 セメントで埋められた理由や経緯は知りません。おそらく工事施工後に悪臭対策等の理由で埋められた可能性があるものと推察いたしますが、辛うじて残っている3分の1のグレーチングについても、通常よく見るグレーチング蓋より細目の物が設置されており、現在は砂利や泥で目詰まりを起こしている箇所が散見されます。以前から排水設計上必要だから施工したグレーチングの数なのでは？と、疑問を抱いておりました。現状で問題がないということであれば、その根拠の説明をお願いします。 【懸念される危険性とお願い】 現状、排水機能がほとんど失われている状態であり、昨今のゲリラ豪雨や台風などの大雨の際、道路の雨水を全く排水できず、深刻な道路冠水や近隣の浸水被害（床下・床上浸水等）を引き起こす危険性が非常に高いと考えます。現に2016年9月20日の午前10時から降った時間雨量72㎜の際には駐車場が10～15㎝まで冠水しました（写真あり）。 今年の千葉県や愛知県などの豪雨災害を目の当たりにし、地域住民の安全と防災の観点から非常に不安を感じております。恐れ入りますが、該当箇所の現地調査を行っていただき、側溝の機能回復（埋められたセメントの撤去や泥の清掃、代替となる適切な排水・防臭対策など）について、早期のご対応を強く要望いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。
2	危機管理体制について	○後藤田正純徳島県知事は令和8年10月12日に北朝鮮から日本に向けて打ち込んで来た極超音速核弾道ミサイルから県民一人一人の生命・財産・暮らしを全力で守らなければならない。 ※核シェルターの設置
3	徳島県消防防災航空隊	○後藤田正純徳島県知事は徳島県消防防災航空隊の消防防災ヘリ「うずしお」が離発着できる消防防災ヘリポート基地を増やさなければならない。併せて、消防防災拠点施設の施設整備を行わなければならない。 ※鳴門市撫養町黒崎の「うずしおふれあい公園」は消防防災ヘリ「うずしお」が離発着ができる。⇒うずしおふれあい公園は雨水貯水タンク槽を地下に埋設している。 ※徳島県鳴門総合運動公園は消防防災拠点基地になつている。
4	危機管理体制について	○後藤田正純徳島県知事は本日　令和8年10月29日に北朝鮮から日本に向けて打ち込んで来た極超音速核弾道ミサイルから、徳島県民一人一人の生命・財産・暮らしを全力で守らなければならない。